



池袋事務所 〒170-0013 東京都豊島
区東池袋1丁目34番5号 いちご東池袋
ビル 6階

info@bandaiho.com



万代宝書房

練馬事務所 〒176-0012 東京都練
馬区豊玉北5丁目24-15-1003

03-5956-0140



万代宝書房について

HOME / 会社概要 出版業界の今 書籍の種類選びについて 万代宝書房の方針と出版の基本形態 / プライバシーポリシー / お問い合わせ

万人の知恵CHANNEL【第2回】病気の元の原因は何？疾病信号～心と身体がつながっている原理～

vol.2 病気の元の原因は何？疾病信号～心と身体がつながって...



MC:東京都豊島区倫理法人会 会長 ジャーナリスト・ノンフィクション作家 万代宝書房代表 釣部 人裕

ゲスト:〔一社〕倫理研究所 法人局 法人スーパーバイザー・豊島区倫理法人会相談役 アーティスティックコミュニティ代表 工藤 直彦氏

東京都豊島区倫理法人会 幹事 「荒町整体」整体／整顔／読脳師 荒町 英明氏

収録:2019年6月24日

釣部：はい。つりひろトークライブ、工藤直彦さんをお招きして、シリーズです。工藤さんよろしくお願ひいたします。

工藤：はい。よろしくお願ひします。

釣部：はい。今日も多くの方が、会場にお越しいただいています。主催、Office Tsuribe、共催、豊島区倫理法人会、料理は、あの有名なケンシンテイということで、ヒマナイヌスタジオ、高円寺からお送りしております。今日はですね、ゲストに謎の整体師、中野の荒町英明さんをお招きしております。荒町さんよろしくお願ひいたします。

荒町：よろしくお願ひします。

釣部：じゃあ、ちょっと工藤さん、自己紹介お願ひします。

工藤：音楽の仕事をしてまして、ミュージシャンの派遣とか、音響の器材の扱いとか、いわゆる興行全般の仕事をしてます。

釣部：はい。ありがとうございます。じゃあ、荒町さんお願ひします。

SEARCH

お知らせ

[万人の知恵CHANNEL【第2回】病気の元の原因は何？疾病信号～心と身体がつながっている原理～](#)

[万人の知恵CHANNEL【第1回】倫理法人会って何？～正しさを上回る](#)

[大事なものは！？～](#)

[氷室絵馬 ーその総てー（松本敬子 著）](#)

[Facebook公式ページを公開いたしました。](#)

[YouTube 「Office Tsuribe」チャンネル](#)

カテゴリー

[お知らせ](#)

[万人の知恵CHANNEL](#)

[出版・書籍紹介](#)

SNS



荒町：はい。荒町です。中野で整体をやっております。お店は7年経つのですが、整体歴は、ちょっと長いんですが…。豊島区の倫理法人会に所属しております、中野でお店なんですけど、豊島区で…。工藤さんにご縁がありまして、そちらで倫理を学ばせていただいております。今日は、よろしく願いいたします。

釣部：お願いいたします。で、今日のテーマが、われわれの勉強会では、「**疾病信号**」という、まあ、「**病気になることは信号だよ**」ということを書いていて。いつも、整体してる荒町さん、何かをこう、思うことがあるという…。ぜひ、じゃあそれをお願いします。

荒町：はい。整体をしてまして、いろんな症状を持って来られる方いるんですが、なかなかその症状だけ治しても良くなっていかないんですね。で、良くなったかなと思うと、また、同じことをぶり返してしまったりして。で、やっぱり勉強してくると、どうも、その症状っていうのは、症状だけ治しても良くならない。

工藤：うん。ならないね。

荒町：何でかっていうと、症状っていうのは、結果なので、結果だけ、何かをいじくっても、元が治ってないのだから…。その元が体にある、肉体にあると思っているので、体だけ一生懸命やるのですが、ほんとうは治っていかないんですね。ひょっとしたら、病気とか、そういう症状の元の原因というのは、体だけじゃないかなというのは、整体しながら非常によく感じる、いろんな症例もありますけど、そんな風を感じていくのですが、どうでしょうか？

工藤：昔から「病は気から」って言いますよね？

荒町：そうですね。

工藤：私、たまたまなんですけど、ドクターの友人が何人かいるんです、医者ね。開業医。その辺の町医者ですわ。みんなに共通してるのが、お盆休みと年末年始の休みに風邪をひくのですよ、彼ら。で、普段は、風邪を持っているとか、インフルエンザを持っている人と、この（近い）距離で、何人もこなしてるのにうつらないんですよ、あんまり。

何でなんですかね？って感じ。理屈で考えたら、絶対1日でうつりそうなものじゃないですか。で、お盆休みとか年末年始の休みの時とかは、べつに家族ぐらいしか付き合いがないので、病気になる必要ないじゃないですか、ね？誰かから風邪をもらうってこともないじゃないですか、何でなのかな？って。

こちらに「病は気から」っていうの、すごくあると思うの。要は、気が張ってるかどうか、気の持ちよう、心がきちんと正しく整っている状態であれば、罹患しにくい病気ってたぶんあると思う。で、それがゆるんじやった瞬間にグダグダになっちゃうっていうのがあると思うんですよね。

だから、心と体、これ倫理（法人会）では、「**心身相関の原理**」って難しい原理があるのですがね、**心と体は、つながって、心の状態が体に出てくるんだよ**って、そういう勉強もするんですけどね。例えば、真っ赤になって起こる人いるじゃないですか？

釣部：はいはいはい。

工藤：ただ怒るだけなのに、顔まで赤くなったり、（また）青くなって怒る人もいますよね。これ、心が体に現れているわけですよね。例えば、緊張すると手に汗かいたり、脇に汗かいたりしますよね。緊張してるのと、汗をかいてるの、どのように関係あるんですかね。このように**心の状態と体っていうの、つながっている**って、実は誰もが知っ

ているんですよ。だから、心を整えてしまえば、体の出方も変わってくるっていうのは、これ道理ですよ。だから、荒町さんは整体（師）だけれどもね、肩凝る人は、肩凝るようなマインド持ってるんでしょうね。

荒町：そうですね。やっぱり、プレッシャーというか、何か背負っていたり。

工藤：背負っていたりね。あるでしょうね。

荒町：ありますね。それから、やっぱり、腰が痛い人、仕事でちょっと腰が引けてるなとか。

工藤：腰が引けてるなとかね。

荒町：なかなか、腰は入らないなとか。

工藤：腰入らないね。

荒町：仕事の重みで腰が砕けて。

工藤：腰砕けで。

荒町：日本語ってすごく、そういう慣用句って...。

工藤：言い表しちゃうんですよ。

荒町：言い表しがすごいですよね。やっぱり昔からそういう風に、慣例があるとわかっているの、首肩だったらそういう症状になるし。

工藤：なるのでしょうね。

荒町：腰もそういう心持があったりして。

工藤：あるのでしょうね。

荒町：症状が出ますし。膝もそうですし。

工藤：そうですね。

荒町：いろんなところが、体とそういう心持のものと、症状ということがね、すごく関連付けられているなとすごく感じますね。

釣部：荒町さんのところに来る、クライアントさんというか、患者さんは、比較的原因のほうは、見ない方が多いと？

荒町：大体そうですね。

釣部：「痛いところを治してくれたらオッケー」っていうだけで？

荒町：やっぱりそうですね。直接なかなか、最初に来たお客さんに、「その原因、なんかどこかにありませんか？」って聞くのも難しいので、何回かね、親しくなってからそういうことを聞く時もありますけれど、やっぱり最初は、「痛いのを何とかして欲しい」「つらいのを何とかして欲しい」という思いで来られる方が多いですからね。

釣部：これどっちが先ってことじゃないのですよね？ 心が先、体が先っていう。ケース・バイ・ケースなんですかね？

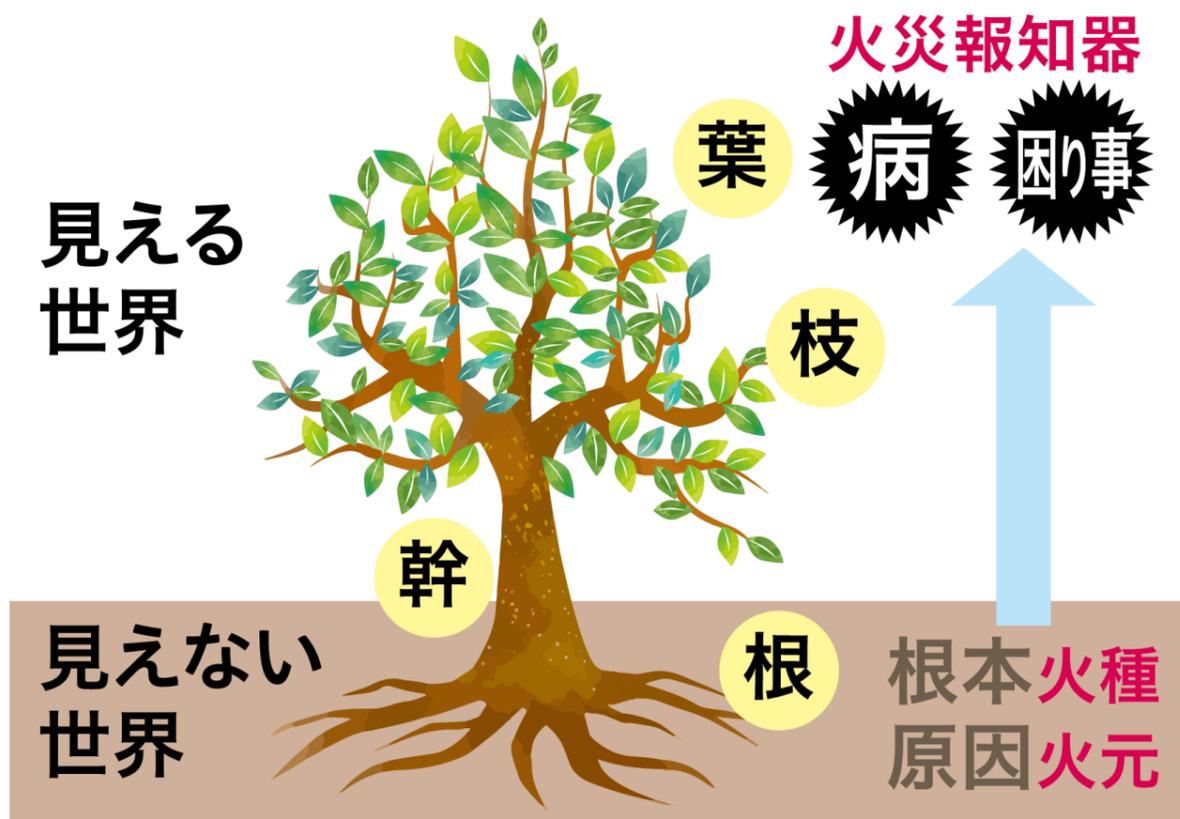
工藤：まあでも、やっぱり心が先じゃないですか。

釣部：心が先ですか？

工藤：心が先でしょうね。心のありようがそのまま体に現れるし、さらに言うと、その人を取り巻く環境にまで、影響を及ぼしますよね。ちょっとね、こんな絵を描いてみたんですけども、私、絵も字も下手なんで、恐縮なんですけどもね。

釣部：はい。

目に見える世界に現れてるものって、それにつながる根っこがある



工藤：ねえ。縁って「目に見えないところでつながっている」ってことを言ってる仏教用語ですよ。で、だから、その目に見えない次元でつながっているって感覚は、みんな持っているんですよ。だけれども、それを意識的に考えた場合ね、目に見える世界。これね、これ木の絵なんです。で、木の幹とか枝とか葉っぱのところってというのは、目に見えるじゃないですか。でも、根っこって目に見えないですよ。

でも、この根が大切なんです。この根が腐っちゃってると上もだめになっちゃいますよね。だから、面白いものでね、例えば、お花をプレゼントしてもらおうと、男性でも嬉しいですよ。女性はもっと喜びますけれどもね。あのお花って、ここ（幹）から上だけきれいに咲かせてて、根っこがないお花なんです。『わー、きれい！』ってありがたがっているんですよ。冷静になって考えてみると、ちょっとおかしい話なんです。

根がなくて、上だけきれいに咲いている花をありがたく思うって。その心って、なんか現代人の、例えば、「心はともかくとして、体だけ治してくれ」っていうのと、私非常に近いものを感じるんです。で、荒町さんがね、先ほどおっしゃってくれたね、体のことをこうやって書いてみたんですけどね。

病ってかいてあるんですけど、病って体調が悪いとか、困りごと全般。病だけじゃなくてもいいですよ。例えば、借金返せなくて苦しいとかね。どうしても仲良くしたい人と仲良くできないとか、困りごとって世の中いっぱいありますよね？

こういったような、病とか、困りごと、苦難とか、こういったものというのは、実は、**目に見える世界に現れているものに過ぎないんですよ。この目に見える世界に現れてるものってというのは、それにつながる根っこがあるはずなの。この根を良くしないことに**

は、こっち（幹より上）絶対良くなりませんってわかりますよね。

これ、私、倫理法人会の会員さんにいつもお教えしているのは、病とか困りごとって言うのは、「**火災報知器**」みたいなものですよと。ね？ 例えばね、ここ（のスタジオ）もね、商業施設ですから、どこかに火災報知器あると思うんですけど。もしなかったらね、消防法違反になっちゃうと思うんですけど。

ここで、ちょっとぼやが起きて、火災報知器がジリジリって鳴ったとするじゃないですか。そのときに、お店の方がね、「今収録中なんで、ジリジリうるさいですよ」って言って、火災報知器止めたとするじゃない。「はい。静かになったんで、収録続けてください」って言ったら、おかしいじゃないですか？

「火、消しましょうよ」って、で、「消せないんだったら逃げましょうよ」って話じゃない。だから、火災だったら誰もミスらないのですよ。だけど、人生ほとんどの人が間違える。火災報知器止めようとするんですよ。

そうじゃなくって、火災報知器であれば、**火元・火種を消す**のが大事でしょ？火元・火種を消せば、べつに火災報知器うるさいけど、どうでもいいじゃないですか。なのに、私たちは、日常生活の中、人生の中で、その困りごとが起きてしまう**根本原因にアプローチをしようとしなくて、その困りごと、病だけをなんとか消そうとする。**

だから、仮にそのとき力業でね、仮に消せたとしても、火種が残っていますから、また、大変なことになるわけじゃないですか。だから、ここ（根本原因）を消すってことがすごく大事。これがわからないと、たぶん、健康ってなかなかないのじゃないかな。

釣部：あと、その思い方の中で、なぜ、健康になりたいか？手段か目的かってあると思うのですよ。

工藤：うんうんうん。

釣部：健康は、手段ですよ？ と僕は思っているのですよ。

工藤：そのとおりですね。

釣部：やりたいことがある。そのためには、健康な体が良い。

荒町：そのとおりですね。

釣部：だけど、なんか目的になっているというか。あとは、何をしたいかがわからないです（という人もいます）。

工藤：そうですね。

釣部：「食うために仕事しなくちゃいけないのだよ」とか、「これが楽しいんだよ」って言って、なんか根がない人間っていうか…。

工藤：まさに**根がない**。

釣部：糸の切れた凧みたいな。そういうことってありますよね？

工藤：あります。

荒町：病気にならないために健康になるみたいな。

工藤：健康のためなら命もいらぬとかね。

釣部：ほんとそういう感じですよ。

工藤：ほんと順番を間違ってる方いらっしゃいますよね。

釣部：薬も全部が否定するわけじゃないですけども、火元を感じなくするような薬。

工藤：症状だけ抑える薬ってありますからね。

釣部：ありますよね。まあ、緊急で必要な場合はいいとして。

工藤：ここ一発っていう時はね、そういうのも有りですけども、それで楽になったからって、「ああ、治った！治った！」って間違ってますよね。



釣部：僕は、睡眠薬とかは、あんまり肯定的じゃないというか、ほとんど否定的で。だって、寝られなかったら寝なかったらいいじゃん。「どっかで寝るよ！」って。寝ないで死んだ人いないと思うのですよ。

工藤：そうですね。

釣部：どっかで寝ていると思うのですよ。

工藤：絶対そうです。

釣部：だから、おかしいのです。僕、入院したときに隣の人が寝られない。確かに寝られないのですよ。で、うるさいんですよ。で、僕も目が覚めて、「うわーっ」と思いながら、「病院だから...」と思ったら、朝、「睡眠薬ください」って言っていて。で、出すんですよ、病院。

工藤：まあ、出すでしょうね。

釣部：夜、また、寝られないんですよ。「効かなかった。もっと強いのをくれ」って言って。さすがにそれは、どうのこうのってやり取りして。で、家族が見舞いに来たら、「睡眠薬、ちゃんともらってるの？」とかって家族が言うのを聞いて、「これが、日本か...」と思って。だって、病院入院していたらいつでも寝られるじゃないですか？

工藤：というか、ずっと寝ていますよ。

釣部：ねえ。だから、「なんで、そこで睡眠薬もらうのかな？」と思って。家族もそう言うのですよね。本人も。

工藤：そうですね。

釣部：で、寝た気になっているというか...。ちょっと日本の医療、おかしいなと思ったのです。

荒町：そうですね。思いますね。

釣部：じゃあ、荒町さんは、今日ね、工藤さんからヒントというか、「なんで患者さんは、今そうやって憂いてる？」とか、「そこに気付いてもらえないのだろう？」といった時に、どんなことされているんですか？

荒町：どんなことをしているか？ まあ、なかなか…。でも、そうですね。アプローチしにくいのは、現実ありますね。その人の抱えている問題に踏み込まないと、扱えないですよ。で、その人が、求めない限り、大きなお世話じゃないですか。こっちから、「それ何か原因が違うところにあると思いますよ」って言っても「ふーん」って言えば、それでおしまいだし。

釣部：原因を見たくない患者さんがいるってことですよ？

荒町：それと、あと、その症状があることで、何かを得ている人もいるわけですよ。まあ、なかなか治らない人もそうですけど。そういう中でアプローチするのは、なかなか難しい。現場では、難しいですね。そういうのを求めて来ている人であれば、こちらも話はできますけど、すごく稀ですね、うちに来る（人の中では）。

釣部：工藤さん、なんかアドバイスをはっきりと。

工藤：私ね、治療院経営されている方、治療はね、マッサージからね、整体からね、カイロまでいろいろあるんでしょうけれども、よく倫理指導^{※1}というのがあるんですけどね、経営のご指導させていただくことがあるんですけども。

「告知の仕方変えてみたら？」って、ときどき申し上げるんです。何かって言ったら、「**二度と来たくなくなる整体屋さん**」。つまり、「通ってもらってどうなの？」って。ね？ もう、その件については、もう心の状態が整っちゃって、体に現れなくなったら二度と来ないじゃないですか。だから、『うちには、二度と来たくなくなりますよ』みたいな広告を打つとおもしろいんじゃないですかって…。

普通で考えたら、「えっ？」と思うじゃないですか。でも、「その理由は」って、今はね、Facebookとかね、LINE@とかでもそうですし、ホームページなんかでも、そういう見せ方が簡単にできる時代じゃないですか。だから、見出しにね、『**二度と来たくなくなる整体師です**』。すごくキャッチとしては、面白いでしょ。何事と思って見ちゃうじゃないですか？

そうすると、「**心と体の相関関係って、その病気が起こる、体が調子悪くなる、その奥底の原因を、うちは取り除くこと**」にコミットメントをもっています。だから、うちに来たら二度と来たくなくなります。おかげで経営大変です[笑]」とあって、書いておけばね、面白いですよ。

だから、**心をきちんと整える**っていうことが、いろんなことに役立つというのが、すごく大切なところですよ。それをしないと。でも、経営的には、通ってもらったほうがいいんだよね？

荒町：経営、でも、やっぱり世の中が良くなるには、そういう経営っていうか、医療の在り方から変えていかないと、ほんとに最先端医療であっても、結果しかいじらない。結果しか何とかしないわけですから、それをセットに、原因とセットに扱える人たちが世の中に増えていかないと。

工藤：それがほんとうでしょうね。

荒町：ほんとうに「自分の経営というか、利益だけ考えていたら世の中よくなっていかない？」ってすごく思いますね。

工藤：いや、おっしゃるとおりですね。

釣部：今の工藤さんの「**二度と来たくなくなる整体師**」っていうのをやったら、単価上がりますよね。高いお金で使っていいし。

工藤：そうですね。

釣部：で、結局通いますよね。一定レベルの。

工藤：そんな簡単に心整わないからね、普通の人はね。

釣部：やっぱり、体ももちろん扱うけど、たぶん僕のイメージだと、経絡とか、骨とかを揃えて、考えが真っ直ぐになるように整えるだけで、あとは、ヒヤリングしながら、というか、インタビューなのか、カウンセリングかわかりませんが、お話ししながら「そのテーマってこうじゃないですか？」って、ほんとに根元を見つけていく作業をしつつっていうと、やっぱり半年なり1年なり...

わかってもしできないじゃないですか？そういうのはすごく多いと思うんです。工藤さんいつもね、「言ったってやらない人多いし。わかったってできないよ」って言うのですよね？

工藤：「できるくらいだったら、最初から困ったこと起きないよ」って。

荒町：そうですね。普通のカウンセリングをセットにされている方もやっぱりいるし、世の中にいないわけじゃないですけど、やっぱりどこに踏み込んでいくのか？ベースがどこにあるのか？普通のそういう心理学だけなのか？こういう倫理の基をベースにしているのか？っていうので、踏み込み方も違って来るし、出てくる結果もたぶん違って来るなとは思いますが。

釣部：どうですか？**二度と来たくなくなる整体**？

工藤：使っていいですよ。

釣部：中野の荒町整体っていうのをちょっとキャッチにして、理由をちゃんと書いて。

荒町：いいですね。

釣部：単価上げて。

荒町：扱うほうもほんとに真剣にね。

釣部：来る患者さんの層、変わると思うのですよね。

工藤：それは、変わりますね。

釣部：だって、ねえ。通いたくて、要は、病気になってメリットがある方っていうのは、来たくないじゃないですか。たぶん、来なくなって違うところに行って、ほんとうに治りたいっていう、健康が手段の方が増えるんじゃないですか。ちょっと、ギャップの時期はあると思いますけど。

荒町：あると思いますね。

釣部：どうですか、そういうチャレンジは？

荒町：ハハハハハ。はい。はい。ちょっとまた...。すぐには...

釣部：工藤さんもいろいろあれですよね。相談受けますよね？ 体のことで。

工藤：すごく受けます。

釣部：それはもう、体のことは整体師さんで火元のほうを。

工藤：私は、医療、医学に関しては、ド素人なので、素人がそんなこと言っちゃいけないと思うので言わないです。ただ、心の状態、心の持ち方っていうことについては、お話をさせていただくことが多いですね。

釣部：やっぱり、治っていく方も実験実証ですから。

工藤：ちゃんとやればね。ご相談に来られる方のかなりの部分が、**自分にとって都合の良いこと言ってもらうのを待っている方がいて...**。そんな都合の良いこと絶対ないですよ。100パーセントないと言っていい。何でないかっていうとね、その人にとって都合の良いことで、それで良いのであれば、その人は困ってないはずなのよ。

釣部：病気になってないですよ？

工藤：病気になってないはずなのよ。ね？ だから、**その人が、触れられたくないこと、蓋「をしておまかして生きていることを申し上げるので、それに向かい合うっていうのは、やっぱりそれなりの人間力ある方じゃないと難しいのかな？」**と思いますね。

釣部：荒町さん、やっぱり倫理指導^{※1}できる存在になるしかないですね。

荒町：（荒町）自らがね。

釣部：「自らがならないと！」っていう。なんかヘビーになってしまいましたけど。

荒町：ヘビーな...

釣部：ちょうどもう、時間となりましたので、今日の収録は、これで終わりたいと思います。皆さんありがとうございました。皆さんも質問とかゲスト参加の希望があれば私の所（[コチラ](#)）に頂ければ、それを工藤さんに聞いて続けていきます。

工藤：ありがとうございました。

共有:



いいね:

読み込み中...

タグ: [万代宝書房](#), [二度と来たくなくなる整体](#), [倫理法人会](#), [工藤直彦](#), [心を整える](#), [東京都豊島区倫理法人会](#), [疾病信号](#), [病は気から](#), [病気の原因](#), [荒町整体](#), [釣部人裕](#)

[PREVIOUS](#)

[万人の知恵CHANNEL【第1回】倫理法人会って何？～正しさを上回る大事なものは！？～](#)

Copyright 2019 Bandaiho.com